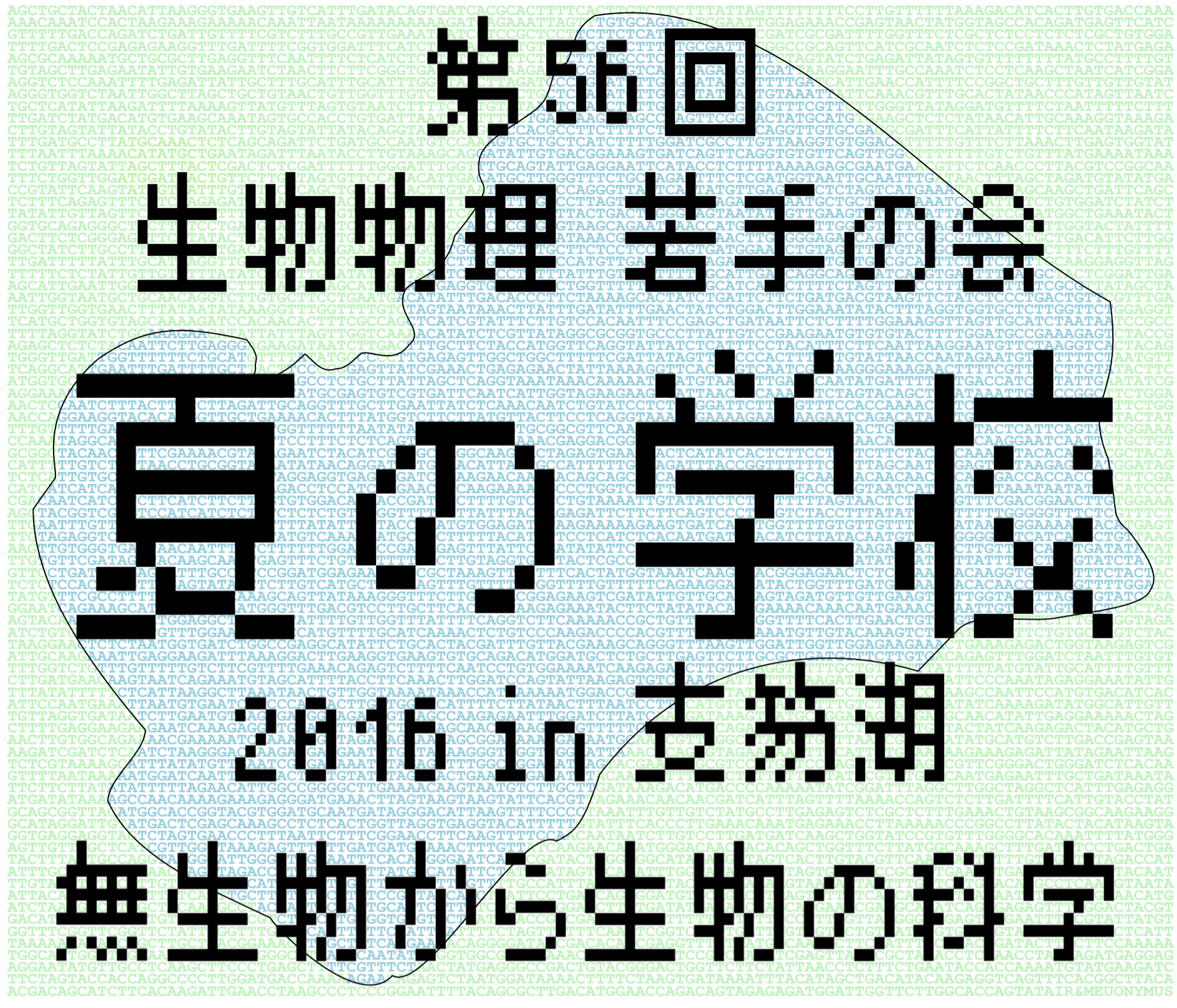


涼  
しい  
ぞ

※個人差があります



北海道は

# 第56回 生物物理若手の会

## 夏休み 2016 in 支笏湖

### 無生物から生物の科学

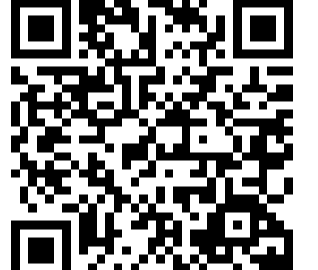
9月2日～5日 @支笏湖ユースホテル  
(新千歳空港からバスで約40分)

主催：生物物理若手の会 後援：日本生物物理学会、日本生物物理学会 北海道支部  
共催：京都大学基礎物理学研究所 助成：公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団

参加費：21,000円 (学部生割引・旅費支援有り)  
途中・一部のみ参加OK！  
ポスターセッションほか、企画盛りだくさん！



詳細・お申し込み→  
<http://bpwakate.net/summer2016/>  
生物物理若手の会



9/2 PM <オープニングセッション>  
「意識とは何か」を理解すること・  
「生命とは何か」を理解すること  
郡司ペギオ幸夫先生 (早稲田大学)

9/3 AM  
・  
PM <メインシンポジウム>  
生命は人工合成できるかー  
『細胞』は人工合成できるらしい  
木賀大介先生 (早稲田大学)  
からだの中の分子が働く様子を観る  
原田慶恵先生 (大阪大学)  
生命現象における普遍性とは何か？  
佐野雅己先生 (東京大学)

9/4 AM <分科会A:ユニークな巨大生体分子・  
組織の研究～放射光構造生物学の最前線～>  
高速X線回析ムービーによる  
昆虫飛翔筋動作機構の解明  
岩本裕之先生  
(公益財団法人 高輝度光科学研究センター)  
巨大生体分子の構造生物学：  
超分子複合体を見る  
加藤公児先生 (北海道大学)

9/4 AM <分科会B:細胞の構造とメカニクス>  
細胞を分子から構築すること、  
細胞内で生じる流れのこと  
木村暁先生 (国立遺伝学研究所)  
非熱的に隔離されたソフトマターの  
非平衡状態としての細胞内環境  
水野大介先生 (九州大学)

9/4 PM <分科会C:タンパク質デザインと  
生物物理の最前線>  
タンパク質分子デザイン：  
ゼロからの創製と自然界のタンパク質の改造  
古賀信康先生 (分子科学研究所)  
In vitro進化分子工学を用いた  
タンパク質デザイン  
松浦友亮先生 (大阪大学)

<分科会D:生命現象を遺伝子から解き明かす>  
巨大ウイルスが生物学にもたらした衝撃  
緒方博之先生 (京都大学)  
概日時計の化合物による制御と解析  
廣田毅先生 (名古屋大学)

協賛  
株式会社アールアンドケー、アクア株式会社、株式会社 池田理化、SI サイエンス株式会社、  
カクタスコミュニケーションズ株式会社、シュプリングー・ジャパン株式会社、  
ソーラボジャパン株式会社、ツジ電子株式会社、テクノ環境株式会社、日本電波工業株式会社、  
早坂理工株式会社、株式会社バイオモデリングリサーチ、株式会社ヒューリンクス、  
株式会社フューチャーラボラトリー、三井化学アグロ 株式会社、株式会社 羊士社、  
リアルコンピューティング株式会社、株式会社 和科盛商会 (敬称略、50音順)